

学校を変える。教育が変わる。

平成24年11月1日発行 広島県教育委員会

CONTENTS



CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER CLIP Vol.50

広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造

- 地域の宝を発見!
「みんなで作ろうひろしま自慢」
- グローバル化に対応した人づくり
- いじめは絶対に許さない
- おでかけガイド

11月1日は「ひろしま教育の日」 11月1日から7日は「学校へ行こう週間」
▼今年の「ひろしま教育の日メッセージ」
「うれしいな! できないことができたとき!」

地域の宝を発見! 「みんなで作ろうひろしま自慢」

県内の公立小・中学校、特別支援学校では、自然・産業や伝統など、地域の宝に関して調べてまとめたり、地域の宝を継承・発展させたり、新たな宝を創造したりする取り組みを行っています。こうした取り組みを発表する大会を開催し、県内全ての市町から32校がステージ発表、243校が展示発表をします。ぜひ会場で、子どもたちの発表を応援してください。

▼今年の発表大会は次の3会場で行われます。

発表大会			
地区	開催日	開催時間	開催地
西部	11月17日(土)	13時～ 16時30分	安芸高田市田園パライツォ
中部	12月1日(土)		呉市広市民センター
東部	11月24日(土)		三原市芸術文化センター(ボボロ)



地域の宝を調べまとめる

明治の人の先見の明に習う

～呉鎮守府・海軍工廠の歴史と宮原～

呉市立
宮原中学校(1年)

宮原中学校のある宮原地区には、かつて海軍工廠がありました。正岡子規の句碑などの記念碑や、真梨清水と呼ばれる湧き水もあります。明治の人たちが残したものは現代まで活用され、日本の技術や経済を支えてきました。海軍工廠などの歴史や、海上自衛隊、造船所などを調べて、先人たちの先見の明など、私たちが受け継ぐために大切なものをまとめ、発表します。

生徒の声

私たちの学校から見える造船所で当時の最新技術の結晶、戦艦大和が造られました。その技術が日本の戦後復興と高度成長を支え、現代にも受け継がれていることを知り感動しました。現代につながる昔の人の思いや素晴らしい技術を多くの人に伝えたいです。



歴史を探究

地域の人から歴史を学ぶ

教員の声

「やっさ踊り」の練習を通して、子どもたちは地域への誇りを強く持ち始めました。子どもたちは、「伝統を受け継いでいくんだ」という意欲を持って、真剣なまなざしで声を掛け合いながら練習しています。

「やっさ踊り」の西小オリジナルハッピーを着て

地域の宝を継承・発展

わがふるさと自慢

～伝統を受け継ぐやっさ踊り～

三原市立
西小学校(6年)

三原の伝統芸能である「やっさ踊り」を、毎年6年生が受け継ぎ、郷土への誇りを育み大切にしたいという思いで取り組んでいます。「やっさ振興会」の皆さんの指導のもと、各パートに分かれて一生懸命練習しています。三味線、しの笛、太鼓、鉦なども児童が演奏しています。西小パワーを100%発揮して、「やっさ踊り」を披露します。

地域の宝を創造

来原小学校の宝

～栄光のブラスバンド～

安芸高田市立
来原小学校(5・6年)

私たちの来原小学校には、まだ楽器が貴重品だった戦後の時代に、地域からの寄付金で楽器を購入し、いち早く器楽演奏に取り組んできたという歴史があります。昭和30年には、当時としては珍しいラジオ放送に出演しました。また中国こども音楽会で優秀賞を受賞したこともあります。

長年、地域の人たちに支えられ、伝統となった来原小学校のブラスバンド演奏を披露します。

児童の声

息の合った演奏ができるよう、速さや強弱、リズムなどに気をつけて練習しています。来原小学校には、親子2代のブラスバンド経験者や、器楽演奏時代を含めれば3代の経験者もいます。たくさんの先輩たちに負けないように演奏をしたいです。

ブラスバンド練習風景

